

京都府感染症情報センターからの最新情報

(2025 年第 5 週 : 令和 7 年 1 月 27 日～令和 7 年 2 月 2 日) No. 657

京都小児重症患者診療情報システム管理部 長村敏生

今週のコメント : 2025 年第 5 週の報告です。

インフルエンザの報告数が**減少**しました。全国、京都府全体・保健所別のいずれも流行発生警報の継続基準値を下回りました。その他、山城北の**咽頭結膜熱**、京都市右京区の**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**、京都市南区・右京区・西京区・乙訓の**伝染性紅斑**は警報レベルが継続しています。眼科定点は**流行性角結膜炎**が 6 件、基幹定点は**マイコプラズマ肺炎**が 9 件の報告がありました。

全数報告対象の疾患は、2 類は**結核**が 7 件、5 類は**後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)**と**水痘 (入院例)**がそれぞれ 1 件、**百日咳**が 8 件の報告がありました。

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による流行性の発疹性疾患です。「リンゴ (ほっぺ) 病」とも呼ばれます。京都府および全国的に昨年 11 月以降、感染者が増加しています。府内では特に未就学児を中心に感染が多くみられています。感染経路は通常は飛沫感染もしくは接触感染です。感染後 10～20 日の潜伏期間を経て両頬に境界鮮明な紅斑が出現し、続いて腕、脚部にも網目状・レース様の発疹がみられます。パルボウイルス B19 は赤血球系細胞に感染するため、もともと遺伝性球状赤血球症などの溶血性疾患を持つ人では重症の貧血発作になることがあります。感染後 1 週間前後 (発疹出現の 7～10 日前) にウイルス血症によって微熱や感冒様症状が出現することがあり、この時期ウイルス排出量は最も多くなります。現時点で特異的な治療法はありませんが、ほとんどが自然軽快します。ワクチンはありません。妊娠している方が感染すると、胎児水腫や流産を起こす場合があります。成人では頬の紅斑などの特徴的な症状は少なく、周囲の人間が知らないうちに感染していることもあります。普段から手洗いや飛沫感染対策を心がけ、食器やタオルの共有をしないなど注意をしてください。

伝染性紅斑と妊婦に関する追加の情報が必要な場合はこちらもご参照ください

▶ [日本産婦人科感染症学会 / 伝染性紅斑 \(リンゴ病\) の流行について](#)

京都府感染症情報センターホームページのアドレス : <http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

注意 : 上記の下線部分の内容をご覧になりたい方は、パソコンの「Ctrl ボタン」を押しながら [青文字下線部分](#)をクリックしていただきますと、閲覧することができます。

最新の府内の発生状況（2025年第05週）

全数把握疾患

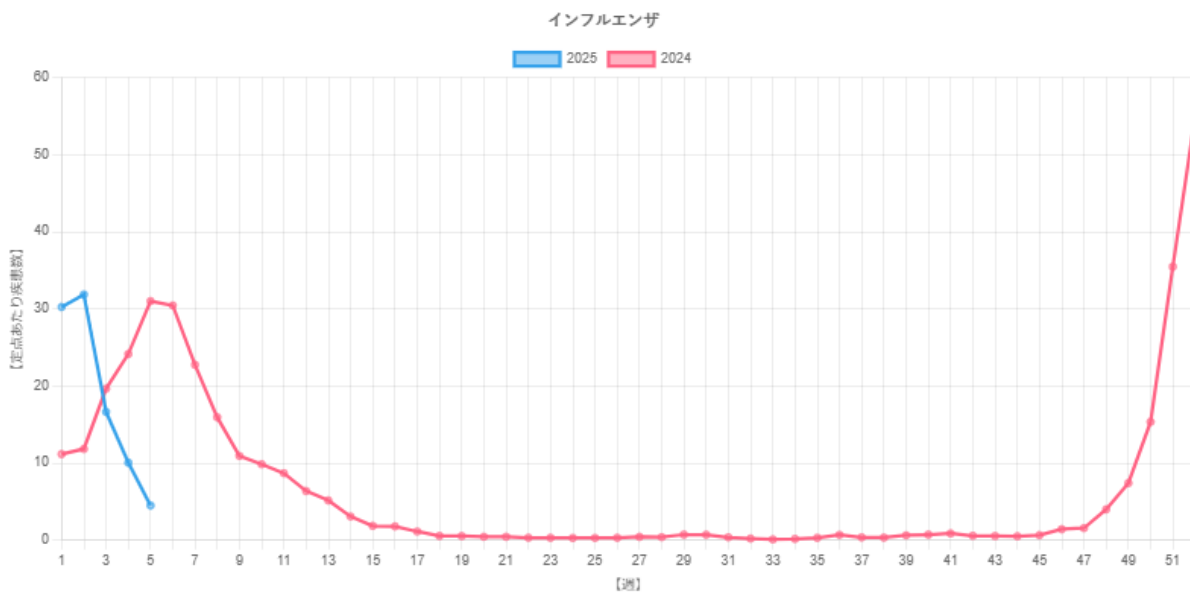
分類	報告
1類感染症	報告がありません
2類感染症	結核が7件報告されました
3類感染症	報告がありません
4類感染症	報告がありません
5類感染症	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）と水痘（入院例）が各1件、百日咳が8件報告されました
全数報告一覧へ	

基幹定点 マイコプラズマ肺炎が9件報告されました
眼科定点 流行性角結膜炎が6件報告されました

定点把握疾患

疾患名	定点当たり報告数	前週比	注意報・警報
インフルエンザ	4.5	↓	
COVID-19	4.79	↑	
R S ウイルス感染症	0.67	↑	
咽頭結膜熱	0.8	↑	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.81	↑	
感染性胃腸炎	4.92	↑	
水痘	0.05	↓	
手足口病	0.08	↑	
伝染性紅斑	0.64	↑	
突発性発しん	0.09	↓	
ヘルパンギーナ	0	↓	
流行性耳下腺炎	0.01	→	
急性出血性結膜炎	0	↓	
流行性角結膜炎	0.33	↓	

インフルエンザ：報告数は減少傾向です。全国、京都府全体・保健所別のいずれも流行発生警報の継続基準値を下回りました。



基幹定点からのマイコプラズマ肺炎の報告件数の推移

2024年第44週:令和6年10月28日～令和6年11月3日: 21件

2024年第45週:令和6年11月4日～令和6年11月10日: 30件

2024年第46週:令和6年11月11日～令和6年11月17日: 33件

2024年第47週:令和6年11月18日～令和6年11月24日: 22件

2024年第48週:令和6年11月25日～令和6年12月1日: 16件

2024年第49週:令和6年12月2日～令和6年12月8日: 15件

2024年第50週:令和6年12月9日～令和6年12月15日: 18件

2024年第51週:令和6年12月16日～令和6年12月22日: 11件

2024年第52週:令和6年12月23日～令和6年12月29日: 10件

2025年第1週:令和6年12月30日～令和7年1月5日: 6件

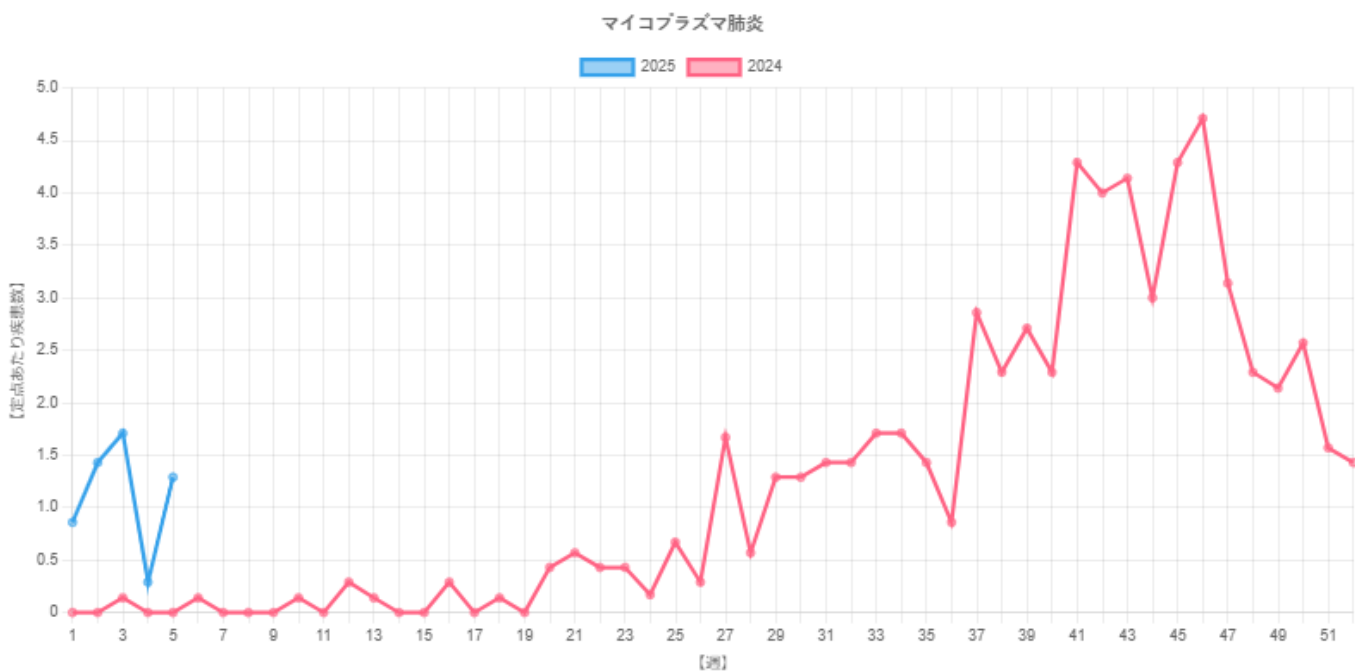
2025年第2週:令和7年1月6日～令和7年1月12日: 10件

2025年第3週:令和7年1月13日～令和7年1月19日: 12件

2025年第4週:令和7年1月20日～令和7年1月26日: 2件

2025年第5週:令和7年1月27日～令和7年2月2日: 9件

⇒ マイコプラズマ肺炎の報告件数は、なお昨年よりも多い状況が継続しています。

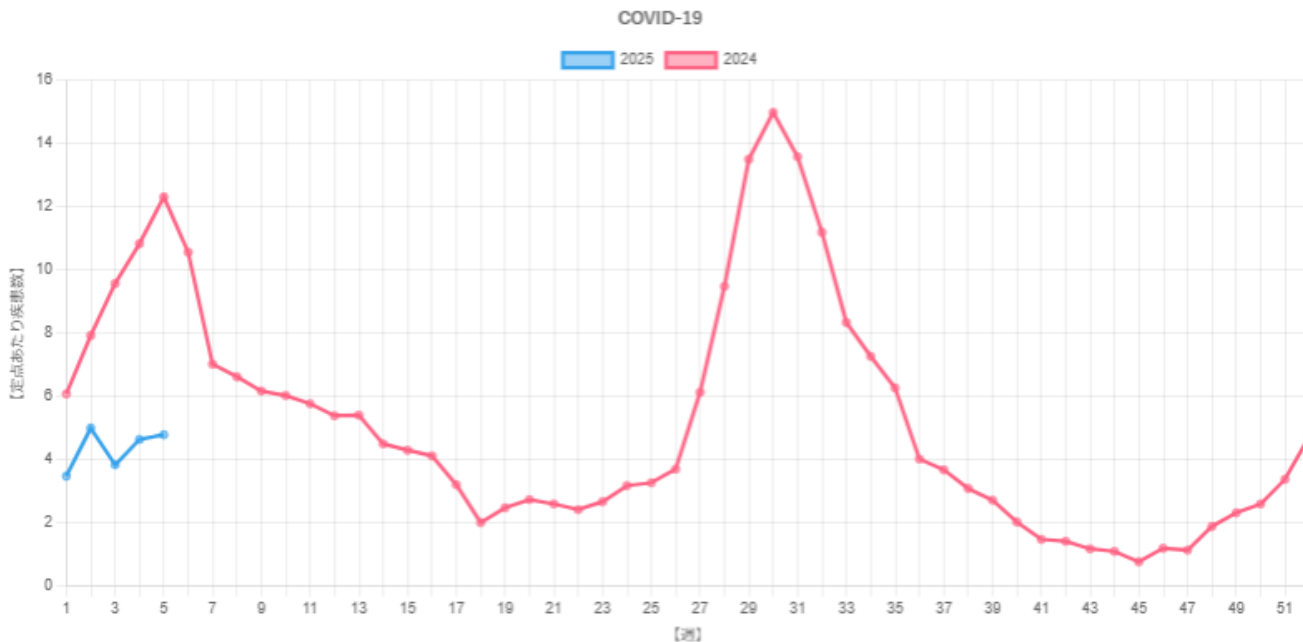


COVID-19 : 2024 年に比べると少ないものの、なお報告は持続してみられます。

疾患名

X軸スケール 第1週から1年間 10年間推移

比較 比較する年を指定 年 5年間比較



咽頭結膜熱 : 山城北で警報レベルが継続しています。

京都府全域

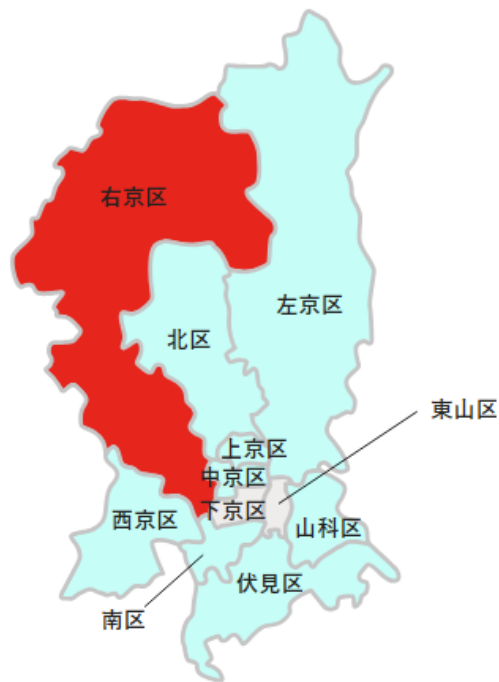


	罹患者数	定点当たり
乙訓	8	2
山城北	45	4.5
山城南	-	-
南丹	-	-
中丹西	1	0.33
中丹東	1	0.25
丹後	3	0.75

- 発生なし
- 発生
- 注意報
- 警報

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：京都市右京区で警報レベルが継続しています。

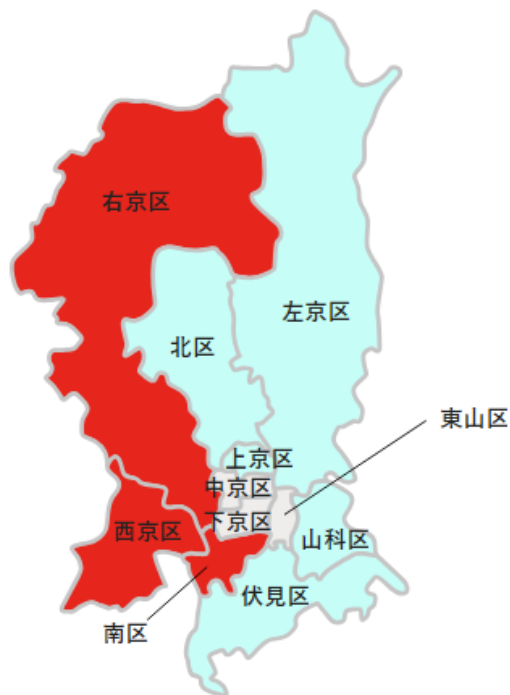
京都市域



	罹患者数	定点当たり
北	1	0.25
上京	3	1
左京	8	2
中京	2	0.67
東山	-	-
山科	2	0.4
下京	-	-
南	8	2
右京	29	5.8
伏見	8	1.6
西京	16	3.2

伝染性紅斑：京都市南区・右京区・西京区・乙訓で警報レベルが継続しています。

京都市域



	罹患者数	定点当たり
北	1	0.25
上京	2	0.67
左京	4	1
中京	-	-
東山	-	-
山科	3	0.6
下京	-	-
南	4	1
右京	5	1
伏見	2	0.4
西京	9	1.8